

1. 大学で数学を学ぼうと思ったきっかけは何でしょうか。

【答】

なんとなくです。

2. 理学部第二部を選んだきっかけは何でしょうか。

【答】

国立大学の前期入試が終わっても募集を締め切っていなかったからです。

3. 夜間部に在籍して、得をしたこと、良かったこと、困ったこと、苦労したことなどありましたら教えてください。

【答】

→得をしたこと、良かったこと

・社会人学生の方に、もし院試に落ちても就職先を紹介してあげると言ってもらえたことです。本当かどうかは別として、精神的に追い詰められなくてすみしました。

→困ったこと、苦労したこと

・(私の話ではありませんが、)教員志望の方で塾講師のアルバイトをしたい方は時間的に難しいので困っているのを見かけました。また、不登校の子どもを対象にした家庭教師を昼間にしている人もいました。

4. アルバイトはされていましてでしょうか。されていた場合、大よその業種や勤務時間帯を教えてください。

【答】

洋菓子店や飲食店で開店から5限前までアルバイトをしていました。

5. アルバイトをされていた場合、アルバイトと学業の両立は難しくなかったですか。苦労されたことなどありましたら教えてください。

【答】

アルバイト先が学業に理解があり、テスト前一週間はシフトを入れないなど融通してくれていたため、特に苦労はありませんでした。お子さんが体調不良で当日急に出られなくなった主婦の方とシフトを積極的に変わるようにしたり、普段から「お互い様」と言えるような働き方をしていればアルバイト先の理解を得るのはそう難しくないと思います。(※夜間学部の学生が昼間にアルバイトをすると同僚の大半は主婦の方です。)

6. 大体で構いませんので、大学1, 2回生の頃の一日のライフスタイルを教えてください。

【答】

起きて、朝食を食べて、午前から授業前までアルバイトをして、昼食を取り、講義を3時限分受けて、帰って、夕食を食べて、お風呂に入って、寝ます。アルバイトがない日はレポート課題をやったりテスト勉強をしていました。

7. 学部で佐藤研究室（代数学研究室）を志望した理由をお聞かせください。

【答】

- ・きちんと勉強している人が他の研究室に比べて多そうなイメージがありました。
- ・院進希望者が多そうで刺激を得られそうだと思います。(実際私の同期の代は半数が院試を受験しました)。

8. 大学院の専攻と、現在の専門を教えてください。また、どうしてその分野に興味を持たれたのでしょうか。

【答】

→現在の専門

群のコホモロジー

→理由

学部四年時に院進を相談したときの佐藤先生の勧めがきっかけです。

9. 大学院を目指されたきっかけは何でしょうか。また、大学院進学先をどのように選びましたか。

【答】

→きっかけ

- ・もう少し数学をやってみようと思ったのがきっかけです。

→進学先選び

・学部から佐藤先生のゼミでお世話になっていたもので、佐藤先生の人柄や雰囲気や指導方針は理解していたつもりでしたし、かつそれに納得がいていたので内部進学しました。(私の主観ですが、研究内容が大事なのはもちろんですが、指導教員の人柄や指導方針は重視すべきだと思います。)

10. 大学院進学に向けてどのような勉強をしてきましたか。勉強の方法、時間、各年次ごとに学修した分野など、大まかで構いませんので教えてもらえると嬉しいです。

【答】

→学部1,2年

関門科目は1、2年生のうちに習ったそのときにきちんとやっておきました。

→学部3年

ギリギリまで斉藤研(解析系)と迷っていたので三年後期まで解析系の科目も履修していました。(実解析、関数解析など)

→学部4年

卒研のゼミと大学院科目の早期履修をしていました。(内部進学する人は早期履修で単位を取るだけ取っておけば進学してから少しだけ楽ができます。)

→東京理科大学の内部推薦院試

理科大の推薦入試しか受けていないので院試についてはそのことしか分かりませんが、推薦が欲しい人は一年生のころからそこそこ成績は取っておいたほうがいいです。大学院に

進学するつもりがなくても、直前になってやっぱり大学院に進学することにした人も身近にいたので、今は進学するつもりがなくても成績は取っておいたほうが選択肢を狭めないと思います。

→英語(TOIEC)

推薦入試を受けられるかはギリギリまで分からないので、他大学受験または理科大一般入試になっても大丈夫なように学部四年に進級する前までにTOEICはそこそこのスコアは出しておいた方が気が楽です。(具体的には早稲田大学はTOEIC550点以下の人は院試の受験資格が無いなど、そういう大学もあるのできちんと調べておいた方がいいと思います。)

11. これまでに読んだ専門分野に関する文献を教えてください。

【答】

- ・ホモロジー代数 河田敬義
- ・佐藤先生の著書たち
- ・スペクトル系列の書籍と論文

12. 分からない問題が出てきたらどうしていますか。

【答】

考えても分からなかったら調べますが、それでも分からなかったら、どこがどう分からないのかきちんと説明できるようにするように心がけています。

13. いつも卒研ゼミの予習にはどのくらいの時間を掛けていますか。また、どのような方法で準備をしていましたか。

【答】

→準備時間

長くても一週間だったと思います。

→準備方法

- ・一回の発表でどの辺りまで発表するか目処を立てる。
- ・分からなかったところがあっても飛ばして先が読めればとりあえず読む、飛ばしたら読めない箇所なら調べる。
- ・分からなかったところに戻ってもう一回考える。

先を読んでみたら分からなかったところが分かったりすることがあるので分からないところを読み飛ばしてみたりしていました。

また、分からなかったところも放置してしばらく経てみたら大したことないことだった、みたいな経験は誰しもあると思います。ゼミの準備を早めにしておけば分からなかったところがあってもゼミ発表までにひらめくことがあるんじゃないかと思います。

14. 自分が行ったゼミの発表で一番印象深かったことは何ですか。

【答】

ヘビの補題です。

15. ノートの準備、発表や板書の仕方工夫したことは何ですか。

【答】

発表することをコピー用紙に書いたものを参考に発表して、発表が終わったら指摘された点を含めてノートにまとめていました。

これでチョークで汚れた手でノートに触らなくていいし、ノートにまとめ直すことで復習にもなりました。

発表は図式を書くときは黒板に大きく書いた方がちまちま消さずに再利用できると思います。

16. この先、大学院ではどのような研究がしたいですか。

【答】

コホモロジーを計算する上でスペクトル系列を実際に道具として使ってみたいです。

17. 将来はどのような進路を考えていますか。

【答】

民間企業に就職したいです。

18. 就職活動などで大学院を修了した方が学部卒より有利になると感じたことがありますか。あるとすればどのような点ですか。

【答】

・そもそも院卒しかエントリーできない専門職があります。(そういった制限がなくても入ってみたら結果的に院卒しかいないような職種もあるようです。)

・院生であること自体が評価されているというよりは、結果的にエントリーシートの話が論理的であったり、面接で話せるネタが院生の方が必然的に多いと思います。

・所謂文系就職をするにしても多様性を謳っている企業が最近多いので、理系の院卒だけで珍しい存在なので意図せずとも他者のと差別化がはかれるのではないのでしょうか。

19. 大学院生として就職活動するにあたり、苦労していることなどを教えてください。

【答】

・ゼミの準備との兼ね合いが難しかったです。TAの仕事があるときに限って企業説明会などが有るのが地味にしんどいです。

・これは数学科の学部生や理論物理系の人たちもそうかもしれないですが、研究内容が面接官に伝わらないし、それが何の役に立つのか聞かれても困ることがあります。(研究内容の説明を、高校生にもわかるようにとか、誰にでもわかるようにとか、素人にもわかるようにとかを要求されます。)

20. 将来の進路先で、大学で学んだ数学を活かせることがあるとすればどのようなことでしょうか。

【答】

・数学書や論文を読みこなす粘り強さやそれに伴う論理的思考力だと思います。

・教職を取っている人は、人に教えたり説明するのに長けていることもアピールできるのではないのでしょうか。(その後になぜ教員にならないのかを聞かれるのが殆どだと思いますが。)

・大半の職業は、あくまで数学そのものよりも数学の思考を通して培った考え方が生かせると思います。そういった意味では数学は現実の社会で何の役にも立たないようで実はどんな職業にも役立つのかもしれませんが。

21. 尊敬する数学者、もしくは理想の数学者はいますか。その理由もお聞かせください。

【答】

(数学者には詳しくないのですが)記憶に残っている数学者は、学部四年のときに参加した研究集会での足利正先生の発表が面白かったです。(内容は難しくてよく分からなかったですが。)

22. これまで学修した数学で最も美しいと思う定理は何ですか。その理由もお聞かせください。

【答】

・普遍係数定理

コホモロジーからホモロジーを実際に求めることができパズルみたいで面白かったです。

23. これから大学で理学を学ぼうと考えている方々に、理科大の夜間部を勧めるとしたらどのようなところでしょうか。もしくは、こうすればもっと理科大の夜間部が良くなりそうだと思うようなところはありますか。

【答】

→オススメ要素

・学費に不安がある方は学費が安いことがメリットではないでしょうか。

→改善点

・昼間学部は学科ごとに就活の説明会をOBを呼んで開催したりしているけれど、夜間学部にそれがありません。大学は就職を斡旋する場ではありませんが、OBがどんな職業についているのかなどの情報の共有くらいはあっていいのではないのでしょうか。

24. (後輩たちに一言) 佐藤研(代数学・位相数学系)で卒業研究に配属を希望している方への心構えやアドバイスなどありましたら自由にお書きください。

【答】

・学部時代のゼミ同期の様子を見ている、佐藤先生は就活や教育実習にも理解があり、ゼミの発表回数を減らすことなく日程をずらしたり融通してくださいます。

・大学院へ進学する学生が多いゼミだと思うので、理科大でも他大学でも大学院へ行きたい人は院試や大学院入学までの意識面でメリットがあると思います。

・人数も例年 10 ± 3 人くらいなので、多すぎず少なすぎずいい環境だと思います。

・輪講する数学書は予め候補に挙がっているものではなくても、やりたいものがあれ

ば(無理のない範囲内かつ本人に実力とやる気さえあれば)やらせてもらえるんじゃないか
と思います。

・真面目にやろうとする姿勢があれば見捨てられたりはしないと思います。

25. その他、以上のほかに特記したいことがありましたら自由にお書きください。

【答】

・帰宅時間が遅くなることを懸念する方がいらっしゃると思いますが、昼間学部の学生が
アルバイトやサークルをして帰宅する時間とほぼ変わりません。

・私の友人にはサークル活動を全うしている人もいたので、夜間学部だからといってサー
クル活動ができないということは無いと思います。

以 上